

仮想アース Crystal E Jtune の導入(4)(HP 収載)

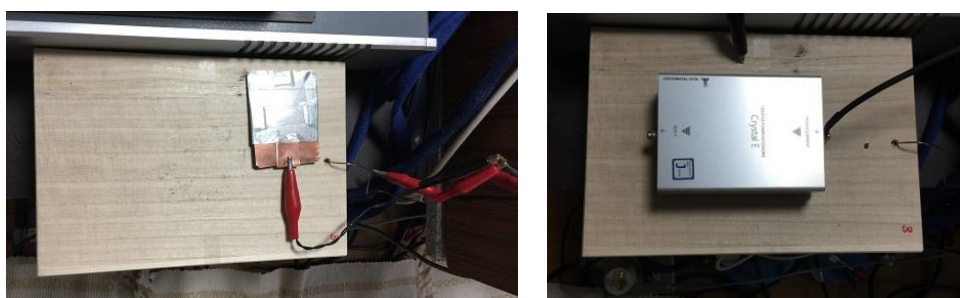
—DA-3000 の RCA 端子への接続—

1. 始めに

前報(3)に引き続き、光城精工の Crystal E の特別チューニング仕様の Crystal E Jtune の試聴を順次実施していきます。

2. Crystal E Jtune の試聴方法

接続対象は、現在自作の仮想アースを接続している機器とし、今回は DA-3000 の RCA 端子に接続します。現在は DA-3000 の RCA 端子には、金属タワシを解砕して金属板とともに木箱に埋めた自作の仮想アースに NRF-005T を貼り付けた銅板を加えたものを使用していますので、これらを外して Crystal E Jtune を接続します。



試聴音源は、DMR-UBZ1 の放送録画とベルリンフィルデジタルコンサートホール、SONICA DAC 経由の Spotify Connect の再生から選んでいきます。

3. Crystal E Jtune の試聴結果

放送録画では、ルーシー・ホルツシュのリコーダーソナタを視聴しました。自作の仮想アースから Crystal E Jtune に繋ぎ替えますと、リコーダーの透明感が向上し、伴奏のアーチリュートの細かい音も表現されてきます。

また、ソプラノのオクサーナ・ステパニユックのバンドゥーラというウクライナの撥弦民族楽器の弾き語りの録画も視聴しました。自作の仮想アースから Crystal E Jtune に繋ぎ替えますと、ソプラノのダイナミックな歌唱が味わえますし、バンドゥーラの撥弦やグリッサンドの様子もリアルです。

ベルリンフィルデジタルコンサートホールでは、ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルのマーラーの 3 番では、自作の仮想アースでもかなり緻密な表現ができていますが、その傾向が一層強まります。

また、サビーヌ・ドゥヴィエルのモーツァルトのアリエット《鳥よ、年ごとに》を視聴しました。自作の仮想アースから **Crystal E Jtune** に繋ぎ替えますと、ドゥヴィエルのソプラノ歌唱の透明感ある繊細な表現力が向上しますし、伴奏のフォルテピアノの打鍵と余韻の再現も向上します。

SONICA DAC 経由の **Spotify Connect** では、下記を試聴しました。

アントニオ・ヴィヴァルディ チェロ協奏曲集

Hrriet Krijgh(チェロ)

Candida Thomson 指揮 **Amsterdam Sinfonietta**

J.S.バッハ リュート組曲

Alberto Grugnola(リュート)

ともに自作の仮想アースでも悪くはないのですが、**Crystal E Jtune** に繋ぎ替えますと、前者ではチェロのボウイングとバロックアンサンブルの緻密さが向上し、後者ではリュートの繊細な表現力が向上します。

4. まとめ

DA-3000 の RCA 端子への接続に関して自作の仮想アースから **Crystal E Jtune** に置き換える効果を認めました。

以上